「広報」

ちぶ

2011
8
vol.191

2 村長施政方針
3 平成23年度一般会計予算
4 知夫村行政機構図／教育委員の紹介
5 議会だより
6 総務課だより／建設課だより
7 教育委員会だより
8･9 第五次知夫村総合振興計画
10･11 笑顔が広がる交流の場
12 夢に向かって、羽ばたけ一年生／新任教職員のごあいさつ
13 ホテル知夫の里通信／戸籍コーナー／古海ボランティア
14 谷さん家族の紹介／歯科診療所先生のごあいさつ／新人職員ごあいさつ

小さな島　みなファミリー　知夫里島

きれいになった竹名海岸

〈写真上〉清掃前
〈写真下〉清掃後
詳細は6ページの建設課だよりをご覧ください。

平成二十三年度 施政方針

知夫村長
矢田　辰夫

平成二十三年三月定例議会の開催にあたり、村政の執行についての方針と主要な施策等について述べさせていただきます。

私、村長に就任いたしまして、早、二年四ヶ月が経過いたしました。

就任当初より、「やるべき事は何か。やらなければならない事は何か。」は明確であり、目標として「第一次産業の漁業・畜産業の出荷額の拡大五十％増。」、「就労の場を作る為の地域産業おこし」、「人口減少に歯止めをかける為の定住対策。」の三本の柱をかかげました。

この三本の柱について当初より、目標を達成することは容易ではないが、議会議員、住民、職員の皆様の理解と協力を得ながら積極的に取り組めば「必ず、達成できる。」と信じて、がんばってまいりました。まだ、道なかばであり、結果を論ずる段階ではありませんが決して思いどおりには進んでおりません。

しかしながら、ここで、三本の旗を降ろす訳には行きません。知夫村がこの先も、生き残って行く為には「産業振興、事業創出、定住促進」は絶対必要条件と信じます。私自身、気合を入れなおして、引き続き目標達成に向けて、議会議員、住民、職員の皆様の更なる理解と協力を得ながら努力する所存です。

二十二年度は地方自治法に基づき、本村の目指すべき・取り組むべき施策の方向性を定めた現行の第四次知夫村総合振興計画が最終年度を迎えることから、新たな総合振興計画の策定作業を進めて来ましたが、関係者の斬新なアイデアや創意・工夫が盛り込まれた、立派なものが完成し、本日、議会の議決をお願いする段階になりました。

具体的な内容については後ほど、担当課長より説明いたしますが、基本構想、基本計画、実施計画の三本の柱で構成されており、村づくりの基本として、「人口の減少、地域活力の低下、閉塞感の広がりなど、負の連鎖を意識の上で断ち切り、村行政はもとより、村民一人ひとりが地域経営的感覚とサバイバル自立精神を持って、自ら新しい時代を切り開くと言う気構と創造的な視点を持つ事が何よりも大切。」としております。

当初予算の概要について

平成二十三年度一般会計当初予算の概要について説明いたします。

予算総額は、十一億百十七万七千円であり、平成二十二年度当初予算より四千四百二十六万九千円、率にして四・二％の増額予算となっていますが、主な要因といたしましては、平成二十二年十二月に策定した「知夫村過疎地域自立促進計画」に基づき、平成二十二年から平成二十七年までの六年間に過疎債のソフト事業として年三千五百万円の過疎対策事業債の予算計上と、現行の外国人登録制度を廃止し、外国住民の利便の増進及び市町村等の行政の合理化を目的として、外国人住民を住民基本台帳法の適用対象に加えることとされた、住民基本台帳法の一部を改正する法律に伴い、既存住基システム改修費二千六百五十一万二千円が主な要因と思われます。

【歳入について】

歳入につきましては、村税は歳入総額の四・一％とほぼ前年と同額であり、引続き収納率百％を目指して納税者の納税意識の向上を図りながら収納事務に努力いたします。

地方交付税は、対前年比八・五％増の七億八千八百二十一万七千円となっていますが、これは臨時財政対策債との調整であり、普通交付税と臨時財政対策債を合わせた総額は前年度実績より約二千万円の減額となっています。特別交付税は前年度予算に二千五百万円増額していますが、これは歳出の戸籍住民登録費・委託料に既存住基システム改修費二千六百五十一万二千円が計上してありますが、これに対する特別交付税措置額分です。交付税は歳入予算の七十一・六％を占めています。地方交付税と臨時財政対策債を合わせると歳入の七十四・一％を占めています。

予算編成による財源不足はなく、財政調整基金等の繰入金はありません。

【歳出の主要施策等について】

●保健・福祉・医療について

村民の健康づくり推進と疾病予防のための各種講演会の開催やがん対策検診等の実施を行うとともに、少子化対策として育児奨励金の支給や第三子保育料軽減助成、子育て支援医療費助成事業実施要綱などにより引続き公費負担の継続により子育て支援の充実に努めてまいります。

社会福祉総務費の扶助費に障がい者福祉サービス費一千七百二十九万九千円を計上していますが、その中で五百四十万円が「就労継続支援B型」事業と言って、企業等への就労が難しい、就労意欲はあるが不安がある方へ向けての事業所立ち上げ扶助費であり、西ノ島町の「社会福祉法人シオンの園」が村内古海地区で障がい福祉サービス事業所『笑庵』の事業所開設を四月から予定されております。

指定管理者制度により高齢者福祉センター招福苑の運営及び給食サービス等地域支援事業所の実施に引続き努めてまいります。

知夫診療所の運営は引続き松下先生の勤務が決定しています。

徳田看護師退職に伴う後任の澤田看護師も四月下旬頃には赴任される予定です。

歯科診療所の河島先生がこの三月末で換わられますが、後任は引続き鳥取医大から派遣される予定であります。

島根県は、医師不足が深刻な県内の地域医療を維持し、県民の安全・安心を確保するために六月からドクターヘリの運航を開始することが決まっております。

●生活基盤の整備について

土木総務費において、過疎債ソフト事業として道路台帳等GIS整備委託料一千五百十万円で水道、下水道管の位置や地籍、道路台帳のデジタル化を実施します。又、次年度以降に予定しているごみ焼却炉建設のための一般廃棄物処理地域計画策定業務の委託料二百万円を計上しています。その他、利用頻度の多い橋梁及び公営住宅、仁夫トンネルの長寿命化計画策定業務委託を実施いたします。

海岸漂着ごみにつきましては、昨年に引き続き島根県の補助金で竹名、イカ浜等の漂着ごみを回収いたします。

平成二十二年度補正予算の緊急経済対策「きめ細やかな交付金」による繰越事業六百万円で各地区から要望のありました道路補修などを実施いたします。

●産業振興について

水産振興については、水産資源の減少、魚価の低迷、燃料高騰など依然として厳しい状況にありますが、昨年の離島漁業再生支援事業の新規漁業への着業により、作業場が改修され、今シーズンより板ワカメ生産が本格稼働する運びとなったことは大変喜ばしいことと思っています。本年も離島漁業再生支援事業は九百八十五万八千円の予算を計上し、増殖場の造成、藻場の回復、海岸清掃、魚の高付加価値化等漁業集落会員による効果的な事業計画を推進し水産振興による漁家経営の安定化を図ります。

畜産振興については、引続き村有牛を十頭購入し、生産者の生産意欲の向上と後継者育成に努めるとともに、今年度からは県補助事業として、牛の肉質の早期改良推進を図るために受精卵移植事業を取り入れ、農家に対する助成金六十万円を計上しています。又、過疎債ソフト事業により島根県、JA（改良組合）、役場により「産地収益力向上支援協議会」を立上げ、販路拡大のための活動や改良に向けた研修会等の開催を行い、村内畜産農家の所得向上と経営の安定化を目指します。又、知夫里島開発㈱畜産事業部設立に向けて、地域振興課を中心に準備室を立ち上げており、今後関係機関や村民に対し協力の依頼と兼ね事業内容の説明を行う予定としています。

林業振興については、辺地対策事業債五百三十万円により「里山再生事業」として各地区周辺の里山やスギなどの造林地が雑潅竹木の繁茂により荒廃が著しく進んでいるところを中心に、刈払機による伐採をするとともに、「木竹粉砕機」を購入し伐採後の木竹をチップ状に粉砕し散布することにより荒廃化の防止を図ります。又、辺地債事業で「おがくず製造機（二百九十九万二千円）」を購入し、粉砕されたチップを粉状に加工し、牛舎での敷料や牛糞と混合してたい肥化を図ることで、畜産経営におけるコスト削減や野菜栽培面積等の増加を図り、耕作放棄地の削減も併せて目指します。

●草地林地保全整備事業（緊急雇用対策事業）

平成二十三年度で終了が予定されている県基金事業である緊急雇用対策（十分の十補助）の一環として、中牧等の公共牧場内を作業員五名程度により雑潅木を除去し、牧草地の整備と隔障物の保全を図ります。

有害鳥獣対策費八十六万一千円を計上し、農作物をタヌキ被害から守る為継続して防護柵資材を購入販売いたします。又、併行して中央農業総合研究センターや山口大学の協力を得て生息分布調査を実施し結果次第では捕獲も検討いたします。

●定住対策について

定住促進条例改正を行い期間を平成二十五年三月三十一日まで二年間延長し引続き、人口減少と過疎化に歯止めをかけるため、UIターン者の定住促進を図り住宅改修助成金や引越し助成金を四世帯分の予算計上をしています。また、産業振興推進生活支援事業交付金要綱に基づく、月額十二万円の定着支援助成金を三世帯分予算計上しています。

●教育委員会について

昨年の社会教育主事の配置に続き、今年度は新たに事務局費に二百二万二千円の指導主事派遣負担金を計上しておりますが、これは各市町村に指導主事を派遣するという県条例に基づいての派遣であり、市町村負担四分の一の事業です。小中学校における教育課程、先生方への学習指導、学校教育に関する指導等専門知識の指導者の派遣であり今後の学校教育におおいに役立つと思います。

青少年育成については、学校、家庭、地域の連帯協力による子供達の基本的な生活習慣、人間関係の育成であり、ふるさと教育補助金や過疎債ソフト事業を活用して地域芸能体験、漁師体験や高齢者とのふれあい体験を実施します。

公民館活動としては、過疎債ソフト事業の活用による、親子ふれあい教室、料理教室、その他各種教室の開催や映画鑑賞会、講演会などを年間通して実施いたします。又、盆踊り、皆一太鼓等の伝統芸能の保存のため、DVDの制作をいたします。

平成二十三年四月より、Iターン家族四名が古海地区に居住予定であり、内一名は小学二年生と言うことですので、平成十六年以来のスクールバス運行であり教育振興費に運行委託料を予算計上しています。

以上、平成二十三年度の村政運営に関する所信及び主要な施策の概要について述べさせていただきました。

議員の皆様におかれましては、村政発展のため一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当初予算の詳細や提出議案につきましては、それぞれ担当課長よりご説明申し上げますので、十分なるご審議を賜りまして可決、ご承認をいただきますようお願い申し上げまして、今議会の開会にあたりましての、ご挨拶とさせていただきます。

ご協力の程よろしくお願いいたします。

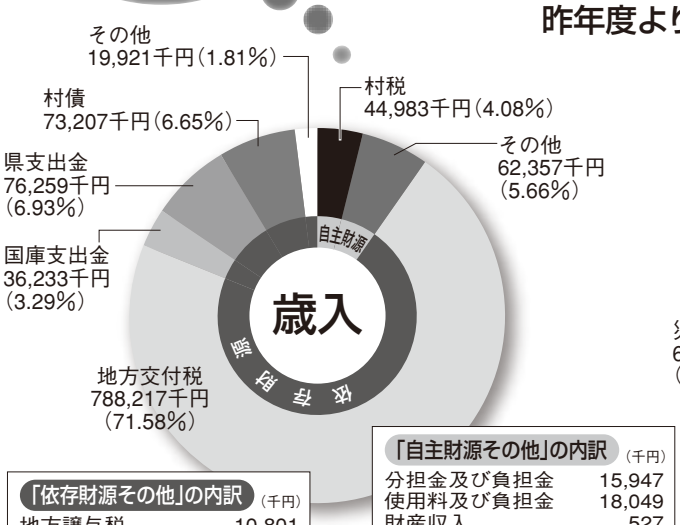
平成23年度一般会計当初予算

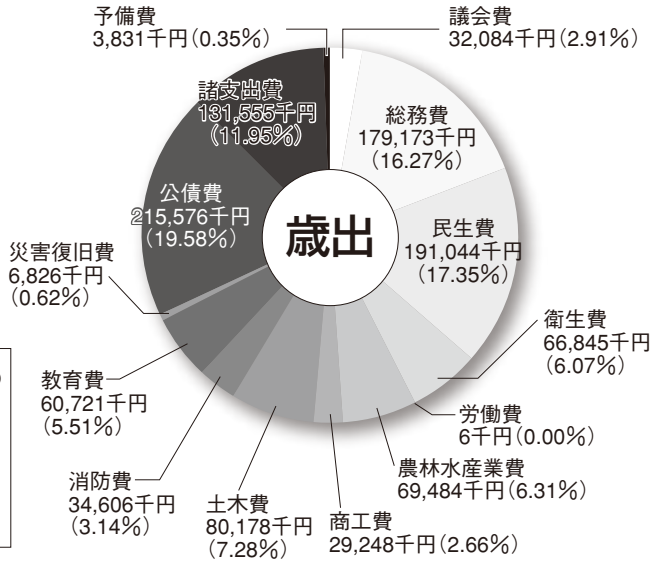
11億118万円

昨年度より4,427万円の増

自主財源わずか9.74%

●村民1人当たりの歳出予算額
174万2千円
●村民1人当たりの借金の返済額
341,000円
4月1日現在 人口 632人





「依存財源その他」の内訳 （千円）

地方譲与税	10,801
利子割交付金	200
配当割交付金	40
株式譲渡所得割交付金	15
地方消費税交付金	5,000
自動車取得税交付金	1,501
地方特例交付金	2,364

「自主財源その他」の内訳 （千円）

分担金及び負担金	15,947
使用料及び負担金	18,049
財産収入	527
寄付金	500
繰入金	3,385
繰越金	10,000
諸収入	13,949

【目的別の歳出内訳】

議会費 32,084 千円
議員・事務局職員人件費、議会運営費など

総務費 179,173 千円
一般・人事・財産管理・消防・企画・徴税・広報・選挙・統計・開発センター等

民生費 191,044 千円
社会福祉・高齢者祉・国民年金・児童福祉・保育所・戸籍・乳幼児医療など

衛生費 66,845 千円
衛生総務・生活習慣病対策・母子保健・環境衛生・ゴミ処理・し尿処理など

農林水産業費 69,484 千円
農業委員会・畜産・農業振興・林業・水産振興など

商工費 29,248 千円
商工振興・観光・公園・定住対策・地域おこし・事業創出など

土木費 80,178 千円
土木・道路新設改良・維持・河川管理・港湾管理・住宅など

消防費 34,606 千円
非常備消防・水防・消防施設維持など

教育費 60,721 千円
教育委員会・学校管理・教員住宅・社会教育・文化財保護・公民館など

公債費 215,576 千円
村債（借金）の元金・利子の返済・一時借入金利子など

労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費 142,218 千円
雇用対策・中小企業・道路、河川の災害復旧・基金への積み立て・不足の支出に備えての費用など

特別会計	
国民健康保険特別会計	114,797 千円
診療所事業特別会計	86,033
歯科診療所特別会計	20,105
後期高齢者医療特別会計	20,357
簡易水道特別会計	69,524
下水道特別会計	81,293
計	392,109

主な事業

	千円
●定住対策事業	11,605
●漂着ごみ対策事業	18,409
●離島漁業再生支援事業	9,858
●道路台帳等GIS整備事業	15,100

予算審査報告

予算審査特別委員長
村尾 広忠

一、平成二十三年度各種会計予算総額は、前年度より、四、四〇〇万円増額となりましたが、昨年の国勢調査で六八名の大幅な人口減となった為交付税と臨時財政対策債を合わせた歳入が前年度に比べて四年ぶりにマイナスに転じた中、人件費の抑制、経費節減等、村長、職員が一体となり財政運営の効率化に努め、五年連続で基金を取り崩すことなく予算編成ができた努力に対し深く敬意を表します。

二、平成二十三年度事業として、水産業の振興、畜産業の振興、又里山再生事業等積極的に計画を進めておりますが、後継者の育成、人材の確保等、多くの問題が山積みしております。人口減少の進む中、知夫村の生き残りをかけて、村民、行政、議会が力を合わせて新しい行政運営の構築を要望いたします。

知夫村行政機構図

村　長　**矢田　辰夫**　　副村長　**渡部　信行**　　教育長　**隠木　哲朗**

（平成23年4月1日）

所属分担	係　名	職　名	氏　名	主な事務分掌
総務課		課長	田上　俊	課統括事務
	庶務係	係長	高田英治	庶務一般、給与、共済、監査
		主事	徳田久志	消防、統計、交通安全、情報
	税務財政係	課長補佐	安藤晋治	固定資産税、税務財政
		課長補佐	川本博樹	村民税、税務財政
村民福祉課		課長	小浜清人	課統括事務、福祉事務所長兼務
	福祉係	係長	崎　博一	福祉事務所関係事務、介護
		主事	村尾真和	福祉事務所関係事務、年金、後期高齢者医療
	保健衛生係	課長補佐	山本久美子	保健師業務
		主任主事	崎　慎吾	国保、診療所事務、衛生一般
	戸籍住民係	主任	番谷美穂	戸籍関係事務、旅券事務、保育所
建設課		課長	福山孝行	課統括事務
	管理係	係長	古谷光教	下水道、環境、廃棄物、建設一般
	建設係	主任主事	西谷太介	環境、廃棄物、簡易水道、開発センター
地域振興課		課長	平木伴佳	課統括事務、農委事務局長兼務
		獣医師	野田浩正	獣医師業務、農業共済
	農林水産係	係長	奥本重勝	農林、水産、第3セクター
		主事	福山直人	農林、水産
	定住交流室	室長	山本英樹	定住、交流、観光
		係長	渡辺智彦	定住、交流、観光
内科診療所		所長	松下　隆	診療所統括
		主事	徳若朋子	診療業務
		看護師	永谷マリ	看護業務
		看護師	澤田美智子	看護業務
歯科診療所		所長	永見琢真	歯科診療所統括
		臨時職員	松下絹衣	歯科助手
		臨時職員	山根いづみ	歯科助手
保育所		所長	小浜清人	兼務
		保育士	田中シマ代	保育業務
		保育士	宮本厚子	保育業務
		保育士	隠木千秋	保育業務
		臨時職員	山本真由美	保育助手
教育委員会		教育次長	村尾達子	委員会統括事務、給食センター所長兼務
		主事	浜本洋平	生涯学習、学校教育
		社教主事	藤住　亨	島根県より派遣
		指導主事	手銭俊夫	島根県より派遣
議会事務局		事務局長	崎　秀政	選挙管理委員会事務局兼務、広報
出納室		会計管理者	影原知明	出納事務

〈退職者一覧〉矢田　和雄・徳田　貴美江（長い間ご苦労様でした。）

◎新しい教育委員に次の方が選任されました

就任のご挨拶

◆教育委員　崎山　次朗

去る六月二十八日村議会において教育委員に承認され、任命された崎山次朗です。

知夫村の文化面、ソフト面での重要な役割を担っている教育委員会の職務に、ふるさと知夫村にUターンして早五年が過ぎすべてを引退しようとしている私が、この重責を果たせるか心配しているところです。

しかし力量不足ながら、子供たちの将来を願い「生きる力」を育むため、日夜現場で奮闘されている先生方（学校教育）をバックアップするため、そしてまた「知夫村の高齢者が生きがいの持てる村」にするために（社会教育）、他の機関と協力し推進していきたいと思っております。よろしくお願いします。

◆教育委員　番谷　文彦

この度、教育委員になりました番谷文彦です。

気軽に引き受けてしまい、委員会が開かれる度にその重責を知り、自分の身に余ることと、気を引き締めています。

保護者の一人として、また社会人の一個人としての立場から意見を言えるよう目指します。

委員長をはじめ、他の委員の方々のご指導をいただきながら頑張りますので、よろしくお願いします。

議会だより 議会活動の活性化を目指して

活動報告

知夫村議会は、島根県町村議会で、唯一の村議会であり地方分権化時代にふさわしい議会のあり方として、議会自らの住民との協働活動をとおしての各種施策の企画、立案に参加して、真の住民の負託に答える議会のあり方と活性化を目指して活動の中、平成二十三年三月から七月まで取り組んだ議会活動及び審議結果を報告します。

〈統一地方選挙〉知夫村議会議員一般選挙

四月二十四日に知夫村議会議員一般選挙を執り行いました。

定数八名に対し九名の立候補者があり、投票率は九一・六五％となり、県知事選の七四・九五％をはるかに上回りました。

左の方々が当選されました。

前列左から嘉見議員、井尻議員、徳田議員、口村議員
後列左から向濱議員、高田議員、渡部議員、堂下議員

■当選者（得票順）

氏名	当選回数
堂下　勝也	1
向濱　樽幸	1
高田　　武	7
井尻　義教	3
口村　善澄	3
渡部　哲朗	1
徳田　博史	4
嘉見　壽徳	3

五月臨時議会

新正副議長決まる

議　長　井尻　義教氏
副議長　向濱　樽幸氏

知夫村議会議員選挙後の初議会となる五月九日平成二十三年第二回臨時会において正副議長を選出しました。

村政発展のために更なる議会活動を期待します。

井尻議長（左）と向濱副議長（右）

常任委員会各委員の選出

●総務厚生常任委員会
委員長　高田　武
副委員長　渡部　哲朗
委員　嘉見　壽徳
委員　向濱　樽幸

●産業建設常任委員会
委員長　徳田　博史
副委員長　堂下　勝也
委員　口村　善澄
委員　井尻　義教

知夫村議会役職表

●監査委員
嘉見　壽徳

●隠岐広域連合議員
向濱　樽幸
堂下　勝也

●島前町村組合議員
井尻　義教
向濱　樽幸

●国保運営協議会委員
嘉見　壽徳
渡部　哲朗
向濱　樽幸

●農業委員会委員
高田　武
井尻　義教

主な役職を掲載しました

三月定例議会概要

第一四四回平成二十三年三月定例会は三月十一日から十六日までの会期で行われ、人事案件二件、条例の一部改正三件、条例制定二件、議決案件二件、指定管理者の指定一件、村道の認定と変更各一件、補正予算六件、当初予算七件、選挙管理委員会選挙一件が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決承認、同意し四日間の会期を閉会した。

一般質問では、高田議員が、

一、矢田村長の就任二年間の実績総括と今後の対処方針について

二、タヌキ被害の対処について質問した。

井尻議員は、

一、保健師の採用について

二、通学路に街灯の設置について質問しそれぞれ村長の所信を問いました。

六月定例議会概要

第一四五回平成二十三年六月定例会は六月二十八日一日限りの会期で行われ、人事案件一件、条例の一部改正二件、議決案件六件、専決処分案件二件、報告案件一件、補正予算五件が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決、承認同意、議決し一日間の会期を閉会した。

一般質問では、向濱議員が、

一、島内バス路線の増便及び充実

二、二次期導入予定の超高速船の採算性について

三、公衆便所の新設及び改修について

四、定住促進対策事業の成果と今後の事業推進の方策と展望について

五、知夫村の産業開発について

堂下議員は、

一、受精卵移植事業について

二、東牧牛舎について

高田議員は、

一、知夫村観光協会の体制整備について

二、赤はげ山の野大根の花再生事業の実施について

三、来居港の一部改修とターミナルビルの建設について

三名が質問をし、村長の所信を問いました。

皆様の声をお聞かせください

井尻議長

向濱副議長

知夫村議会は、活力ある村づくりをめざして、毎月、全員協議会等を開催して、村の活性化対策について、協議、検討を行っています。村内に八名の議員がおりますので忌憚のないご意見をお聞かせください。村づくりに活かしたいと思います。

総務課だより

新村内放送システム『エリアトーク』九月より運用開始

これまで知夫村では、NTT電話回線を利用したオフトークを活用し村内放送を行って参りましたが、「機器が古くなり更新の時期にきているが、端末機器等部品を製造していない」などの理由から、平成二十二年度を以ってオフトークを廃止することとし、約三千万円を充て、知夫村独自の電波（地域振興波）を用いた新村内放送システム『エリアトーク』の整備を進めて参りました。おかげさまをもちまして、この九月より運用を開始する運びとなりました。

『エリアトーク』は無線電波の送受信機を利用したシステムですので、風雨等による断線の恐れがなく、リチウムイオン充電地により停電時にも安心です。また、知夫村独自の電波を獲得したことにより、福祉や教育活動・産業・海上交通など従来どおりの幅広い情報提供を維持しながら、ランニングコストは大幅な削減となりました。放送方法もオフトークとほぼ同じで、個別電話からも放送可能です。

整備の際には各地区住民の皆様をはじめ、各関係機関の皆様には多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。また、整備期間が長期となり、住民の皆様には大変ご心配をお掛けしましたことに対し、深くお詫び申し上げます。今後、住民の皆様へ平等かつ安定した情報提供が図られるよう努めて参ります。

※新たに転（入）居される際、または帰省等の際に受信機をご希望の方は申請が必要ですので、知夫村役場一階受付にてお問合せ下さい。

■担当／知夫村役場総務課
徳田
☎〇八五一四―八―二二一一

建設課だより

海岸漂着ゴミの回収作業を実施

平成二十二年度から二十三年度（実施中）国の全額補助を受け、海岸漂着ゴミの回収作業を実施し、これまでに漁具類（発砲スチロールは圧縮して）・家庭ゴミ類・材木類等で約七五〇㎥　三〇〇tのゴミを回収、本土に運搬し専門業者によりリサイクル等の処理を行っています。まだ終わっていない場所もありますが、最終的には島全周を行う予定としています。懸念されていたイカ浜や竹名、古海浜等も久しぶりにきれいな浜が甦ることが出来ましたので、是非、アナガラ釣りや海泳ぎに帰って来て下さい。

クリーンマスを定期的に清掃していますか

下水道の宅内排水工事を終えている家の方は、台所からすぐの桝がクリーンマスという油や野菜くず等が溜まる桝になっています。一週間に一回程度は蓋を開けて、溜まった汚物（焼却ゴミ）を取り除いて下さるようお願いします。〔下水道本管・中継ポンプ・処理場の長寿命化と処理水の高度化につながります。〕

出郷及び帰郷の届け出をしていますか

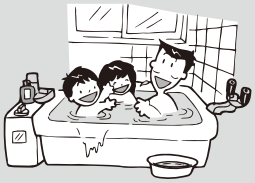
下水道の宅内排水工事を終えている家の方で、長期に出郷される時は、休止料金となり、帰郷し十五日以上滞在すると通常料金となります。

又、すでに出郷しており休止料金を支払っている方で、盆等に一ヶ月以上帰郷滞在するときは通常料金となります。

これらの届け出を怠り、不正行為をした場合五万円の過料を科すきまりとなっていますので上記に該当する方は速やかに届け出をして下さい。

下水道宅内工事を行いませんか？

まだ下水道宅内工事を行っていない家の方は、衛生的で快適な生活ライフが望めますのでお早めに工事することをお勧めします。



■担当／知夫村役場建設課
古谷光教・西谷太介
☎〇八五一四―八―二二一一

知夫里島方言かるた作成

知夫村教育委員会では、忘れ去られつつある知夫の方言を語り継ぐ方法の一つとして、知夫村文化財保護審議会の監修のもと「知夫里島方言かるた」を制作しました。方言は限られた地域で長い時を経て生まれ育ち伝わり、そこに住む人々の生活の中に生きてきた無形の文化です。多くのみなさんにこのかるたで遊んでもらい、方言に触れ少しでも興味をもって語り継いで頂けると嬉しいです。希望される方には、一戸につき一部を無料で配布しますので教育委員会までご連絡下さい。

地域図書の整備

教育委員会では、村民の皆さんの読書活動を支援するために、多沢、薄毛、来居、古海地区のバス停と仁夫集会所に、貸出用図書を各地区約二〇〇冊設置しました。併せて、イベントのポスターや各種講座、講習会の案内チラシなど社会教育情報を発信するスペースも設置しました。自宅の近くにあり、利用しやすくなっていますので是非ご活用下さい。

畜産業体験学習「あざみ掘り」

五月十五日には、畜産業についての体験学習「あざみ掘り」を行いました。牧畑から始まった牛馬の放牧地は知夫村の歴史文化的遺産です。放牧地を守っていくことはこの島で暮らす私たちの責務でもあります。「何かできることはないか…。」考えるきっかけになればよいと放牧地のあざみの除去作業を行いました。小中学生やその保護者、学校の先生、役場職員など約四〇名が参加して、放牧地をきれいにしました。

畜産農家の井尻さんに、畜産業の今と将来について子どもたちに語って頂きました。

あざみを一本一本丁寧に取り除いていきます。

はじめまして、よろしくお願いします。

◆指導主事　**手銭　俊夫**

この４月より、隠岐教育事務所指導主事として知夫村に派遣されました手銭俊夫です。出身は出雲です。海を見て、山を見て、フェリーを見ては感激しています。出雲に帰った折は、出会ったすべての人に「ぜひ知夫に！」と声をかけています。これまで３名が来島し、４名が計画中です。知夫の自然を満喫しつつ、微力ながら学校のため、知夫村のために力を注ぎたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

基本理念

【1つのビジョン】

『活力ある住みよい島・知夫村』を目指して

第五次知夫村総合振興計画

平成二十三年度（2011年）～平成三十二年度（2020年）

スタートの年！

総合振興計画とは？

総合振興計画は、知夫村が目指す将来の理想のすがたを明らかにして、その実現に向けて計画的に村政を進めていくために、各分野での施策の方向性や取り組んでいくことがらを総合的、体系的にまとめた計画です。

村の計画で最も上位に位置付けられる重要な計画でありますが、それと同時に、村民と行政が適切な役割分担と協働関係をもとに村の課題を共有して、一緒になってその解決を図り、知夫村の更なる発展に向けて協働して取り組んでいくための、基本的な計画でもあります。

知夫村の総合振興計画は、これまで昭和四十五年（昭和五十一年）、昭和五十五年、平成三年、平成十三年の四次にわたって策定され、長期的・総合的なむらづくりを進めてきました。

計画策定の背景

むらづくりの基本理念

平成十三年に第四次の十年計画が策定されてから現在に至るまでの間、行財政改革や地方分権の推進、市町村合併への顕著な動きなど時代変化の大きなうねりのなかで、地方自治体の役割と位置づけも大きく変化しました。

各自治体はそれぞれの自己決定、自己責任のもとに地域の課題に主体的に取り組むことが求められ、その政策の重点も市民社会の成熟化の進展に対応して新たな公共課題へ広がりをみせ、住民が主体となって行政との協働連携する地域づくり政策へとシフトしつつあります。

このような状況のなかで、新たな総合振興計画を策定するにあたっては、これまでに村民の不断の努力により築き上げてきた「むらづくり」の成果を生かしながら、住民一人ひとりが個性や能力を発揮し、物質的なものには限らない真の豊かさや自然や人に囲まれ安心した暮らしが実感できる生活の実現を図っていかなければなりません。

村の今後を展望するにあたり、人口の減少、地域活力の低下、閉塞感の広がりと言った負の連鎖を意識の上で断ち切り、村行政はもとより、村民一人ひとりが地域経営的感覚とサバイバル自立精神をもって、自ら新たな時代を切り開くと言う気構えと創造的な視点を強く持つことが何よりも大事です。

こうしたことから、第五次総合振興計画では、これまでの総合振興計画が標榜してきた村の基本理念を受け継いだ上で、「活力ある住みよい島・知夫村」を築くことを改めて基本理念とし、その実現に向けては「村民が生きがいと活力を生み共有する村」と「生き残りと自立促進を追及する村」の二つを、これからの村政の運営に際しての具体的な指針として掲げています。

計画策定までの経緯

この計画の策定においては、策定過程と計画内容に村民の意見や提言が最大限反映されることが重視されました。

平成二十年度から二十二年度

基本指針

【2つの目標】

村民が生きがいと活力を生み共有する村

生き残りと自立促進を追求する村

基本計画

【4つの分野】

①自然と調和した活力ある産業づくり
②安心安全で快適な生活環境づくり
③豊かな心と人間性を育む人づくり
④ふれあいと絆を強める持続可能な地域づくり

までに住民アンケートや地区座談会で頂いた数多くの要望や意見・提案が基礎資料として再集約する一方で、知夫中学校にも直接出向いてヒアリング調査を行いました。

これらの内容は、策定委員会の政策協議を経て体系的に分類・整理され、知夫村総合計画審議会の濃密な審議によって、第五次総合振興計画原案として取りまとめられました。

その後、計画原案は審議会から村に答申され、三月定例議会に上程・議決されて、第五次知夫村総合振興計画として正式決定されました。

この計画には村民はじめ関係者の英知と工夫と汗がつまっています。

計画の具体的構成と内容

この計画は、基本構想を頂点として基本計画、実施計画の三つの階層からなっており、計画期間は平成二十三年度から三十二年度までの十年間です。

基本計画は▽自然と調和した活力ある産業づくり▽安心安全で快適な生活環境づくり▽豊かな心と人間性を育む人づくり▽ふれあいと絆を強める持続可能な地域づくり、の四本柱からなり、分野ごとに中長期的な視野に立った課題と百二十四の主な施策の方向性が記述されています。

かけがえのないふるさと知夫村

知夫里島、知夫村は、かけがえのないふるさとであるとともに、美しい自然と共生しながら、静かで安らぎのある健康な生活を営むことのできる場所です。

私たちにとって、このかけがえのないふるさとである知夫村を後世に残していくことは、今を生きる私たちの責務です。

そして、「活力ある住みよい島・知夫村」という未来予想図を実現する主体であり中心となるのは、村民一人ひとりです。それぞれが適切な役割分担と協働関係をもとに村の課題を共有して、一緒になってその解決を図り、知夫村の更なる発展に向けて協働して取り組んでいくことが大切です。

第五次総合振興計画では、地域の知恵と力を集結した住民協働社会のもとに「活力ある住みよい島・知夫村」を目指して村づくりを進めていきます。

『第五次総合振興計画書』が完成しました！

第5次総合振興計画は、冊子（A4版64頁）として刊行され、6月には、その概要版（A4判10頁）が村内に全戸配布されました。また、知夫村のホームページにも掲載しています。

計画書冊子をご希望される方は

計画書冊子、概要版をご希望される方は、役場総務課まで直接お越し頂くか、郵送対応となります（郵送料のみご負担願います）。部数に限りがありますので、事前に総務課までご連絡下さい（☎08514-8-2211）。

みんな元気に！健やかに！
笑顔が広がる交流の場

◎各地区の交流サロンをご紹介します。

薄毛地区　ささやかな活動の中で「たんぽぽ交流会」

「こんにちわ」「いらっしゃいませ」こんな会話から始まる。たんぽぽ交流会（茶話会）が行われるようになって、今年で5年目を迎えました。

以前から、地区の中で「気軽に集まれる場所があれば良いわね」と言う声を時々聞くことがあり、ちょうどその頃、薬師堂の改修で畳もきれいになったのを機に、愛育班の活動の一つとして、班員4名が中心となって始めたものでした。交流会の中身（？）は、たいした事は何もありません。月に一度第3土曜日午後に集まって、お茶とお菓子（持ち寄り）で、たわいもないおしゃべりをするのです。年に一度12月には、一品持ち寄りの盛大（？）な忘年会をします。その時は、並べられた料理を見るのも、食べるのも楽しく、又お酒も入り、歌や踊りと楽しいひと時を過ごします。帰るときの満足そうな顔を見るのも楽しく、やっていて良かったなと思う瞬間です。

集まってくる人は、現在までは65歳以上の高齢者と言われる女性ばかりです。愛育班としては、地区の誰でも、子供から高齢者まで、男女を問わず集まってほしいと願っているのですが、なかなか思うように運ばないのが悩みとなっています。

出来ることなら、地区の誰もが家族のように心を開いて、会話し、悩みや心配事があれば話せる場所となれば良いわね…と班員の中では、夢見ている人もいます。

最近ちょっとだけ嬉しく、又期待している事があります。それは、毎月茶話会に参加している人の旦那様が「わしも行ってみようかな」とポツリと言われたとか。（しめた）と思いました。5年間進歩のなかった茶話会の今後に、希望と期待を持って、続けたいと考えている愛育班員の一人であります。

■愛育班／安藤和代

●薄毛地区／人口74人・37世帯 **●主体**／愛育班 **●活動開始**／平成19年度4月～ **●活動内容**／月1回の交流会サロン『たんぽぽ会』、会報『愛育班だより』発行

古海地区　ボランティアを通して活性化を「あつまろ会」

この4月1日に発足し、活動している古海ボランティア協会の現状をお知らせします。

協会の方針（理念）は、営利目的ではなく地区の親睦を図り、活性化させる事にあり、その目的の為に①協会タクシーを運行　②お茶会、昼食会を出来るだけ多く催す　③有料ボランティアとして空地の草刈や墓地の清掃を行いその作業代金を運営資金とする。

以上3点の活動は順調に進み、現在はＩターン家族や障がい福祉事業所と一緒に、前述の作業を手伝ってもらって作業も増えています。

今回、広報にお墓の管理についての募集も記されていると思いますが、お受けできる態勢は十分に整っていますので、御利用よろしくお願いいたします。

■古海ボランティア協会　事務局／奥川光宏

●古海地区／人口32人・22世帯 **●主体**／地区役員 **●活動開始**／平成23年度4月～ **●活動内容**／古海ボランティア協会の活動、月1回の交流サロン『あつまろ会』、会報『温もりの里』発行

平成十九年度から二十一年度まで役場村民福祉課主催で、中央・各地区でいきいき語る会を開催し、『地区の良いところ』『地区の課題』『こんな地区になったらいいな』について話し合い、沢山の意見がでました。

理想の地区の姿として、

①人生の最期は知夫で迎えたい！

②島外にいる知夫出身者の墓や空き家の管理をなんとかしてあげたい！

③気軽に集まれる場所があればいい！

の三つに集約されました。

また、二十一年度に社会福祉協議会主催で、地域福祉行動計画の基礎調査となる住民アンケートと地区福祉座談会で出た意見をもとに、地域福祉活動計画が策定され、その中で地域福祉活動への主な要望は、

①独居等の見守り活動をしてほしい。

②災害時要援護者等の安否確認をしてほしい。

③高齢者ふれあいサロンがあればいい。

でした。

これらの取り組みの中で、従来の薄毛地区の交流サロンに加え、他の三地区が順次それぞれの方法で、交流サロンが発足しましたので、紹介します。

仁夫地区　集会所のもうひとつの顔「いっぷく亭」

ちょっといっぷく…。ちょっとおしゃべり…。いかがですか？　あなたも！

仁夫地区にできた、いこいの広場「いっぷく亭」。昨年の社会福祉協議会主催の座談会に於いて、気軽に立ち寄れる場がほしいという声が多く、区長さん、老人会、愛育班を始めとする皆さんの協力のもと、11月から集会所を毎日開放することとなりました。

囲碁、将棋、図書を利用する人、お茶する人･･･。袖なし、はんてん作りの裁縫教室もありました。7月からは生花教室も始まり、今後手芸もする予定です。それから毎月「パンと喫茶」の日も開設し、大盛況で他地区の方もたくさん来てくださいます。

手作りパン・ケーキと香り高いコーヒーで、又テーブルには野の花や庭の花をあしらい、お待ちしています。教室の講師、パンを作る人は「生きがい作りとして私にできることならば」と進んで協力してくださいます。（全て地区の人です）

5月20日には、県の溝口善兵衛知事が来られて、皆さんと気さくにお話をされ、そしてこの活動を大変喜んでくださいました。

今後、この活動が長く続きますように、皆さんと共に頑張りましょう!!どうですか、あなたも。「いっぷく亭」へ･･･。

■仁夫地区いこいの広場会　井尻照子

●仁夫地区／人口142人・81世帯 **●主体**／地区役員 **●活動開始**／平成22年度11月～ **●活動内容**／いこいの広場会（毎日集会所の開放／8:30～17:00）、月1回の交流サロン『いっぷく亭』、会報『いっぷく亭だより』発行

郡地区　世代を超えた交流を目指す「郡区寿会」

2年間、郡区老人会を休止していましたが、連合会長の小西様の熱意によって郡区の会長を引き受けました道畑です。よろしくお願い致します。

郡区の会員は13名で、4月17日、桜の花見会と総会を集会場で行いました。会の規約等も発表してその後、座談会に移り、朝から用意していた魚の造り、酢の物、アラダキ、そして吸物と出来上がり、12時頃より宴会に移り、97歳の前原キク様、今なお現役のドライバー88歳の山本タル様、民謡上手な奥本哲ちゃん、踊りのうまい崎栄三様、そして女性の﨑栄様達でにぎやかに会を盛り上げました。そして旧6月5日は端午の節句で、主婦たちはチマキ作りを致しました。

新旧老人会長。左が道畑さん、右が安藤さん

皆でワイワイと子供にかえって、チマキやほうかぶりを作り、その後は宴会に移り楽しくにぎやかな一日でした。

おみやげに、チマキを5個ずつ持って帰りました。次の座談会は10月です。ホテルで昼食会か招福園でカラオケを予定しております。郡寿会は高齢者の閉じこもり防止、そして悩みの打ち明け、互いに助け合い、支え合いながら気軽に参加できる会を目的としています。皆さまの入会をお待ち致しております。寿会に入ってね！

■郡区寿会／道畑　勲

●郡地区／人口143人・77世帯 **●主体**／老人会 **●活動開始**／平成23年度4月～**●活動内容**／3カ月に1回程度の集まり・食事会

夢に向かって、羽ばたけ一年生!!

★★★ 元気いっぱいの一年生に聞きました ★★★

知夫小学校

古谷有己くん
①カレーライス　②しょうぼうし

南家涼子さん
①ナン　②まんがか

原万依佳さん
①カレーライス、なまピーマン
②おばなやさん

担任のコメント

今年度は、明るく元気な3人が入学して来てくれました。小学校生活にもすっかり慣れ、毎日楽しくのびのびと活動しています。これからも、3人仲良く、助け合いながら成長していってほしいと思います。
（1年生担任／高宮　希）

①大すきな食べ物　②将来の夢

知夫中学校

安藤優希くん
①中学生になって、小学校だったころと変わることがあって大変になったけど、がんばっていきたい。
②今はないけど、中学生のうちに探していきたいです。

南家岳史くん
①部活やテスト勉強でとても疲れますが、昼休憩に遊んだり、部活したりとても楽しいです。
②今は考え中です。中学校のうちで自分のすきなことを見つけていきたいです。

川本和伽さん
①あまりふんいきは、小学校とは変わらないけど、とても勉強とかおもしろい。
②医者、小児内科医になるために今から勉強を積極的にがんばりたい。

野田正樹くん
①時程も変わって、放課後には部活もあって大変です。でもとても楽しくていいです。これからは家庭学習もがんばりたいです。
②なんかを発見して、有名になりたい。

堂下湧斗くん
①ぼくが中学生になった感想は、とにかく毎日が楽しいことです。先輩たちと毎日楽しくしています。
②児童養護施設で働きたいです。

担任のコメント

中学校に入って早3ヶ月。心も体も学力も成長が感じられます。たくさんの可能性を秘めた5名のさらなる成長を楽しみにしているところです。勉強・部活動など様々なことに真剣に取り組み、熱中してほしいと思っています。
（1年生担任／北脇貴子）

①中学生になった感想　②将来の夢など

知夫小学校・中学校　新任教職員のごあいさつ

●4月より新しく赴任された教職員の方々です。

小学校／教諭
高宮　希

大田市立大田小学校から異動して参りました。子ども達と一緒に、私自身も大きく成長することができるように努力を重ねていきます。至らない点も多いと思いますが、よろしくお願いいたします。

中学校／教諭
加藤　大介

はじめまして、4月から知夫中学校へ参りました。私は、中学校で働くのは初めてですが、生徒や知夫の皆さんとの出会いを大切にし、知夫の子どもたちのために努力していきます。どうぞよろしくお願いします。

中学校／教諭
恩田　敬夫

はじめまして。4月より赴任して参りました、オンダアツオです。この知夫の大自然と人情を、自ら味わい、児童生徒と楽しみ、地域の方々と交流を深めながら、満喫したいと思います。よろしくお願いします。

ホテル知夫の里通信

崎支配人が6月30日に退職されました。3年3ヶ月、ご苦労さまでした。

この度、ホテル知夫の里を退職にあたって一言挨拶を申し上げます。

2008年4月4日より2011年6月30日まで3年3ヶ月間、支配人としてホテルに勤務させて頂きましたが、過ぎてしまえばあっというまの出来事のように思います。

就任1年目は、NHKの朝ドラだんだんのロケがあり、知夫里島はじまって以来という出来事があり、島民一体となり盛り上がりました。ホテル知夫の里もその一端をにない、従業員一同初めてのことで戸惑いながらもロケに支障のないように頑張りました。従業員にとっては貴重な体験で、仕事に対する自信につながったと思います。

2年目は、観光協会会長を拝命し、ホテルの支配人と二足のわらじで頑張らせていただき、少し忙しい思いはしましたが、充実して仕事が出来た年だと思っております。

3年目は、支配人最終年度として過去2年間を振り返り、従業員と一体となってやれば出来るとの思いでホテル運営に携わってまいりました。

就任中、極少の実績を残せる事が出来ましたことは、ひとえに役員、行政、島民、の皆様の協力のたまものと感謝しております。（特にホテル担当所轄の地域振興課又経営委員の役員の方の協力には感謝いたします）

又従業員、アルバイト、パートの皆様の協力、努力のたまものが3年間連続して実績が残せた要因だと思います。本当に有難うございました。

最後になりましたが、新支配人のもと、ホテル知夫の里がこれまで以上に発展する事をお祈りして退職の挨拶といたします。

ホテル知夫の里 前支配人　崎　隆

◎新しい支配人の紹介は次号に掲載します。

戸籍コーナー

（太字は村内在住者・敬称略）

平成22年11月1日～平成23年4月30日届出分

ご結婚 おめでとうございます

大前　学　多沢
川合　麻衣　三重県
小豆澤真吾　島根県
前田早綾子　仁夫郡
山本慎一郎　島根県
石川　幸奈　仁夫
崎山　敬秀　佐賀県
前田かおり　香川県
馬場　一樹　大江
山本満智子

おすこやかに お誕生おめでとうございます

向濱　采愛　保護者　向濱　博久
福山　侑希　保護者　福山　大貴
永谷　妃菜　保護者　永谷　仁

やすらかに 心からおくやみ申し上げます

小前　芳枝（62）　多沢
木村　昌夫（70）　多沢
新谷　進（74）　来居
谷川　廣江（89）　多沢
福山　壽一（63）　来居
山口　義夫（88）　郡
鹿島ツネ子（87）　大江
横辻　公枝（69）　多沢
杉山　春雄（85）　古海
並河　孝雄（84）　郡
渡部　隆幸（77）　大江
安藤　利雄（75）　薄毛
鹿島　シヅ（93）　大江
田上　安枝（86）　郡

知夫村民及び出郷者の皆様へ お墓の管理（掃除）を任せてみませんか

◆一般の広さの墓地は一回3千円で行う
◆掃除は指定期日前に行う
◆内容は墓石の水洗い、草抜き、花を飾る
◆ゴミは持ち帰り処分する、その他は相談による

古海ボランティア協会事務局〈奥川光宏〉
TEL08514-8-2557　携帯090-7998-2299
支払いは農協口座振込か直接支払い

ありがとうございます

金一封をいただきました。ありがとうございました。（敬称略）

広報郵送料

家中　英世（知夫村）
前浜　誠一（東大阪市）
鹿島　誠（米子市）
前川　茂（米子市）
知夫中学校十期生一同
知夫中学校第二十期卒業生
笠石トミ子（北九州市）

ふるさと知夫寄附金

菊地　純一（東大阪市）
井田　進（大阪府）
宿　俊幸（生駒市）

編集後記

四月一日より、議会事務局、選挙管理委員会、広報を矢田さんに代わり担当することになった崎です。今回、広報を発行するにあたり、原稿を寄せて頂いた皆様、大変有難うございました。又、広報の発行が大変遅れましたことを心よりお詫びいたします。（崎）

直通電話〇八五一四―八―九〇一三
E-mail:chisen@chibu.jp

発行／知夫村　〒684-0102隠岐郡知夫村1065番地
tel 08514-8-2211　fax 08514-8-2093
http://www.chibu-vill.com　e-mail:ocean-dream@chibu.jp

古海地区に7年ぶりに子どもの声が戻りました!!

Iターンで知夫村に来られた谷さんの家族を紹介します。

私たちは東京都町田市というところからご縁があってこの知夫村にやってまいりました。新しい生活も早4ヶ月がたち、島の夏を家族4人と犬一匹で楽しんでいます。

Iターンを決意する前に一度この地を訪れました。9月でしたが、暑い日だったので海で泳ぎ、水がとても綺麗だと感動しました。レンタカーを借りて島を一周しました。すばらしい景色に所々で停車し、赤はげ山周辺では牛に囲まれ驚いたことを覚えています。

今でも島を車で走っていて、景色に見惚れてしまうことがあり、その度この地に住んでいる喜びを実感しています。

子供の学校生活や、地区の行事などを通して、新たな体験をし、島の文化やしきたりを知る機会も増えました。わからないことばかりながらも島ならではの、田舎ならではのスローライフを満喫しています。

今では二人の子供たちも、東京と知夫とどっちがいい？と聞けば、「知夫村がいい！」と答えるようになりました。それは、ただ色々なものが珍しくて、海遊びが出来て…という物理的なことだけでなく、古海地区をはじめとする村の皆さんに愛され、その温かさに触れ、居心地がよいのだと思います。

季節ごとに野山の恵みを収穫し、海の恵みも幾度となくおすそ分け頂き、またおふくろの味もたくさん食べさせてもらって、毎日の食卓がとても楽しいものとなっています。

人口が少なく、子供の数も少ないところで、そのマイナス要素のみがとり立たされるところですが、子供を中心とした村の在り方は、子育て世代にとってはとても有り難く、安心出来るところです。

私たちの生活が落ち着き、島に根付くことができたら少しずつでも何かお返しが出来たらと考えているところです。末永くよろしくおねがいいたします。

子供たちからのメッセージ

●彩凪（あやな・2年生）
ちぶにきて4カ月がたちました。わたしはもうちぶになれました。まいにち　うみで　およげてたのしいです。

●健児朗（けんじろう・4歳）
むしやさかながたくさんいてたのしいです。ぐみやのいちごをたくさんたべました。はやくおよげるようになりたいです。

知夫村役場 新職員ごあいさつ

村民福祉課福祉係
村尾　真和

この四月に村民福祉課福祉係に配属になった村尾真和です。ふるさとの自然に囲まれた生活がしたくて帰ってきました。学校を卒業して初めての職場で、右も左もわかりませんが、一生懸命勉強して少しでもみなさんのお役に立てるように頑張ります。休みの日には、知夫村の子ども達と一緒にレスリングやテニスをしたいと思います。また、村内で見かけたら声をかけて下さい。よろしくお願いします。

春から初夏の風景

新しい先生の紹介

歯科診療所に新しい先生がきました

永見（ながみ）　琢真（たくま）先生

4月1日より、歯科診療所で河島先生の後任を務めさせていただくことになりました永見と申します。

知夫に来てからは、透き通る海、広大な自然、あたたかい村の方々に囲まれ、楽しく過ごさせていただいております。

なにぶん慣れないことも多く、皆様にご迷惑をおかけすることも多々あるかも知れませんが、丁寧で親切な治療を心がけ、努力していきますのでよろしくお願い申し上げます。

澤田看護師さんと徳若さんが診療所勤務となりました。永谷さんも産休から復帰しました。

左より澤田さん、永谷さん、徳若さん。
村民のみなさん、よろしくお願いします。

村の人口（7月1日現在）　人口●631人（男:307人・女:324人）　世帯数●343世帯　65歳以上人口比率●44%